

日本動物考古学会 第5回(2017年度)総会議事録

日時：2017年6月17日(土) 16:15~16:55
会場：石川県立歴史博物館ワークショップルーム
出席者数：53人、委任状：14通

■会長挨拶

■議長選出

植月学会員を議長として議事を進行した。

■議事

1. 報告事項

(1) 会員登録状況(庶務幹事：新美倫子)

一般会員140名・学生会員26名 計166名(2017年6月1日時点)

(2) 2016年度事業報告

a. 庶務(庶務幹事：新美倫子)：

- ・役員会の開催

開催日：2016年4月14日・6月18日・2017年2月1日

- ・会誌の発送と販売

- ・メーリングリストの運用

b. 事業(事業幹事：丸山真史)：

- ・第4回大会・総会(2016年度)の開催

開催日：2016年6月18日・19日、会場：鳥取市青谷町総合支所多目的ホール

大会参加者数：66名、懇親会参加者数：53名

発表件数：25件(口頭発表15件、ポスター発表10件)

- ・第5回大会・総会(2017年度)の準備

- ・「動物考古学セミナー2016」の開催

開催日：2017年2月11・12日、会場：伊達市噴火湾文化研究所。伊達市噴火湾文化研究所との共催。

c. 渉外(渉外幹事：本郷一美)：

- ・日本人類学会骨考古学分会との連携

d. 広報(広報幹事：山崎健)：

- ・ホームページの管理と更新

- e. 編集委員会（編集委員長：本郷一美）：
- ・「動物考古学」第34号（2016年度）の編集・刊行
 - ・「動物考古学」第35号（2017年度）の刊行準備

(3) 2016年度会計報告

- ・会計決算報告（会計幹事：新美倫子）：
別紙資料参照
- ・会計監査報告（会計監査：山根洋子）：
会計業務の内容が適切であることが報告された。

(4) 震災復興事業（書籍寄贈計画）への協力（広報幹事：山崎 健）

- ・会員から寄贈された書籍を陸前高田市・宮古市に発送した。

2. 審議事項

(1) 2017年度事業計画

庶務（新美）：

- ・ 役員会の開催
- ・ 会誌の発送と販売

事業（丸山）：

- ・ 第5回大会・総会（2017年度）の準備・開催
開催日：2017年6月17・18日、会場：石川県立歴史博物館（金沢市）
- ・ 第6回大会・総会（2018年度）の準備
第6回大会は岩手県宮古市で開催する予定で調整中である。
- ・ 「動物考古学セミナー2017」（8月、伊達市噴火湾文化研究所と共催）を実施する予定である。

渉外（本郷）：

- ・ 関連学会（日本人類学会骨考古学分科会、国際動物考古学会（ICAZ）など）との連携

広報（山崎）：

- ・ ホームページの管理と更新

編集委員会（本郷）：

- ・ 「動物考古学」第35号（2017年度）の編集・刊行
- ・ 「動物考古学」第36号（2018年度）の刊行準備

上記2017年度事業計画については、いずれも全会一致で承認された。

(2) 2017年度予算案（別紙資料参照）（新美）：

・2017年度予算案（別紙資料参照）が全会一致で承認された。

(3) 会則改正案（新美）：

（現行）

第7条 会費を滞納した会員，または本会にふさわしくない行為等を行った会員については，総会の議決により除名することができる。除名された元会員が再入会を希望する場合は，総会の承認を受けるものとする。

（改正案）

第7条 会費を3年以上滞納した会員は退会したものとみなす。または（削除）本会にふさわしくない行為等を行った会員については，総会の議決により除名することができる。除名された元会員が再入会を希望する場合は，総会の承認を受けるものとする。

まず庶務幹事から改正案の趣旨について「2014年度会費から払っていない会員（1名）および2015年度会費から払っていない会員（3名）に対しては現在会誌を送付していないが、大会案内等の郵便物は全て送付しており、これは会費納入者との公平さに欠けるので改正したい」との説明があった。

審議の結果、会員から「退会者の再入会について会則中に記述するべきである」、「退会者には手続き前に連絡が必要ではないか」、「退会者が再入会を希望する場合、退会期間中の会費を徴収するべきではないか」などの意見が出され、これらをふまえて継続審議とすることとした。

(4) 山崎広報幹事から震災復興事業（奈文研を通じた書籍寄贈計画）への協力について依頼があった。

(5) 会長選挙の実施（副会長：樋泉岳二）：

選挙方法は郵送による無記名投票とし、スケジュールは12月初旬に選挙書類を発送、1月中旬投票締切として実施する予定である旨の提案があり、全会一致で承認された。